

令和5年度 第2回 安曇野暮らし支援協議会 会議概要

- 1 協議会名.....令和5年度...第2回 安曇野暮らし支援協議会....
- 2 日 時.....令和6年3月21日 午前10時から11時45分まで.....
- 3 会 場.....安曇野市役所...3階...共用会議室307....
- 4 出席者.....横田会長、安谷屋副会長、浅川委員、荻原委員、中嶋委員、倉品委員、
小林委員、山下委員、横内委員、北村委員....
- 5 市側出席者.....沖市民生活部長、赤沼移住定住推進課長、所移住定住推進課長補佐、
平野移住定住推進係主査、奥村移住定住推進係主査
- 6 公開・非公開の別.....公開....
- 7 会議概要作成年月日.....令和6年3月26日....

協 議 事 項 等

[次 第]

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項
 - (1) 移住に関わる人口移動とアンケートの報告
 - (2) 令和5年度の事業実績
 - (3) 令和6年度の事業予定
 - (4) 各委員からの情報提供
 - (5) 今後の予定
- 4 閉 会

[会議概要]

○会議事項

- (1) 移住に関わる人口移動とアンケートの報告【資料1】
- (2) 令和5年度の事業実績【資料2】
- (3) 令和6年度の事業予定【資料3】

- ・ 事務局より、【資料1～3】を抜粋して説明。
〈意見等〉

●中嶋 事業予定の中で、移住相談ができるお泊り施設の紹介の話があったが、おためし住宅は利用料無料、民間の宿に協力してもらうというのは、どのような形か。

⇒事務局 所 宿泊料の部分は、利用者に通常どおりお支払いいただく。実際に移住された人、県外から移住されている人が、宿泊施設、ゲストハウス等を経営され、相談に乗っていたりしている実態がある。移住希望者への相談間口を広げるためにも、移住相談が可能な宿のリストを作成し、宿と相談を受けてくれるオーナーさんを紹介させていただく予定。現在、広報あづみの3月号でも協力いただける宿を募集中。

中嶋 どのような人たちが参加できるのか。

⇒事務局 所 要件としては、市内の宿泊滞在施設であって、市が開催する会議(市の施策などを紹介、情報交換会)に参加でき、30分程度の移住相談に乗っていただけることとしている。

●横内 子育て世帯向けのセミナーなどは集客に苦戦したと話があった。今、私が相談を受けている移住希望者は自然保育を受けたいという家族だが、これまで相談を受けてきた中である傾向が見えてきたように感じている。それは、普通に会社勤めをされている方でなく、企業経営者だとか、テレワークをされているような皆さん。自然保

育にこだわりがあって自然保育実施園に預けている間に、シェアオフィスで仕事をしに来ているっていうような方がいる。首都圏のそういう若いご夫婦に発信することも有効だと感じる。

- 浅川** 移住相談の宿の関係、他市町村では不動産広告に類似するような客の斡旋をしている人もいて支部の方で問題になっている。宅建業法をはじめとして非常に厳しいルールに基づいて不動産会社は営業している。こういう事業をやる上では、正直にやっている我々や宅建業者が馬鹿を見るようなことがないように周知していただくなど、気を付けて実施してほしい。

⇒**事務局 所** 移住相談と言いながら特定の商品を宣伝するようなことがないようにする、その辺は難しさを感じています。とりあえず宿の方を手始めに、十分留意してできるように、会議の中で皆さんにご説明したいと思う。

- 山下** 安曇野市は、カフェやギャラリーを運営する移住者が多い。池田町と大町市は、移住協力店としてすでに紹介している。移住希望者の方が、お店に足を運び、お客さんとしてお金を払って会話して情報を得る、お店側も営業時間内に本業の時間を割いて話すことなので、それがお店の利益になってというのも良いと思う。そういう宿だけでなく、お店についても発信していく方法も良いと思う。

⇒**事務局 所** とりあえず一番必要とされている宿から来年度スタートして、どんな問題があるか検証も含めて検討していきたい。

(4) 各委員からの情報提供【資料4】

- ・ 資料に沿って各委員から説明。

〈意見・質問等〉

中嶋 不動産事業者一覧の話。土地・中古物件売買に関する相談は建築士会ではできないためどこか不動産屋さんを紹介したいが、一つの会社を紹介するのは難しいので、事務局があれば嬉しいと思っている。

事務局 赤沼 やはり相談の際、不動産屋さんを教えてほしいといった要望は多い。市としては、早急に一覧表を作りお渡したいと考えている。市もそうだが、協議会の皆さんも一覧表があれば使いやすいと思う。また、皆さんの中でも、移住相談でお渡しできるようなお持ちの資料等あれば事務局まで教えていただきたい、共有させていただく。

山下 移住する方の中には、せっかく移住したから、安曇野らしい仕事をしたいという方もいる、農林業だとか。話のあったお宿や飲食店もそうだが、ネットワークづくり、繋がりには移住にとっても大切なことだと思うので、従来の安曇野の良さである土地柄にプラスして人柄、人の良さというのもアピールできたら良いと思う。

横田 私も林業の方については、さとぷろ。に関わらせていただいているが、県外の方でフィールドワークに参加した後、実際の仕事に結びつけた方も知っている。そういう需要はあるので、ネットワークを広げて紹介していくことは大切だと思う。先ほどの一覧表の話は、いい不動産屋さんを教えてと言われても基準がないし、どこの工務店がいいかってと言われてもそれぞれ特徴がありなかなか紹介してくれてと言われてもしにくいものだと思う。何かそういう目安みたいなのが WEB や窓口で元的に見られるようなものがあるといい。

浅川 市の空き家バンク事業者のリストと同じではいけないのか。

事務局 赤沼 まだ検討中ではあるが、来年度、空き家バンクの登録事業者を市外の不動産屋さんにも参加いただけるよう拡大していきたいと考えている。おそらく重なる業者は多いと思うが、移住相談の際にお配りできる一覧表として市内の業者さんで、協議会に参加いただいている宅建さんと全日さんのお声がけのもとお集まりいただいた業者さんを紹介できればと思う。

山下 不動産屋さんの中には、移住者の物件探しは要望が多い傾向があるため、あまり

関わりたくないって業者さんもいると聞く。確かにそうで、安曇野らしい場所、景色がきれいで、田んぼの中の一軒家で北アルプスが見えて、ほどよく便利で…とどんどん希望が出てくるが、さすがに全ては叶わない。ただ、その移住者の要望に応じてくれる、付き合ってくれるような不動産屋さんがリスト化されたいと思う。

事務局 赤沼 県外の方で、不動産屋さんに電話をかけたら、うちは中古物件は扱わない、他のところへかけてとって電話を切られたという声があった。空き家バンクの一覧表には、PR ポイントを記載する箇所があるが、全員の業者さんが PR を載せているわけではない。そうするとお客さんも PR ポイントが書いてある業者の方がやっぱり積極的なのかなと判断する部分もあるかと思う。不動産屋さんからは、電話だけの相談じゃなくて、一度店舗に来て相談してほしいという声も聞いたことがあるので、移住者の方も電話で一方的に要望を伝えるのではなく、足を運んで実際に見ていただく必要もあるってことを、我々もお伝えしていきたい。そういった形で、お客様視点で悩まれていることに対しご案内をしていきたいと思うため、一覧表の作成にご協力賜りたい。

山下 移住希望者で安曇野って決めている人もいるし、やはりまだどこか迷っているという人もいるので、安曇野へ来てみて、街を見て、人を感じて、移住を決めていただくことは大事なことです。観光協会さんの安曇野の紹介動画もとても良い印象、一般の人の YouTube の動画を見て移住を決めたって方もいた。各方面からみんなで進めていけたらいい。

事務局 所 仕事の関係はなかなか入口の部分しかご案内できない状況にある。例えば知っている範囲や感覚的な話で結構だが、移住者に対して熱心に取り組まれてリクルートされている企業だとか、ワークライフバランスを注目されている県外の移住者の方多いと聞かすが、そういった PR をしている企業、実例があるか。

小林 感覚とするとある。企業の代表の方達で、UIJ ターンは人材の質が高いと思われる方も多い。先ほどの求人情報の中でも「UIJ ターン歓迎」と記載されている企業は3分の1あるので、関心はあると思う。

事務局 所 安曇野っていうと大きな工場も多く、多分県外からリクルートしていると思うが、そういったものはハローワーク通じての形になるのか。

小林 ハローワークを通していただければ、どういった仕事なのかなどの説明はできると思う。ただ、なかなかマッチングをしていく中で、やっぱり創業をしている方が一定数いたり、結構特殊な技術を持っている方が多いので、その技術がちょっとこの地域の仕事としてマッチするかどうかっていうところが、なかなかうまくいかないっていうところも実はある。せっかく技術があるのに、うまく就職に至らないケースも最近は見受けられる。

山下 事業継承を考えている人はどうか。実際りんご農家になりたくて、畑を継ぎたいという移住者さんもいた。

事務局 所 その辺の相談は、商工会さんはどうか。

安谷屋 なかなか企業側から相談として来られるっていうことはほぼない。課題として引っ張り出すのにもこちらから心配して事業継承などを考えていますかっていうような掘り下げをしていかないと。すぐそういう話はできないので、相手の懐に飛び込めて入っていけるようになってからとなるので、やっぱり時間はかかる。

横田 CMで銀行さんに相談っていうものもあったが、事業継承っていう方法があるってことを広めていくことも大事なことです。

中嶋 私が携わった物件で事業継承があった。80歳を目前に会社を残したいけど続けられないとなっていて、一方では物件もないし、資金も不安だっというところで、銀行さんから話があって、その事例は他市だったが商工会、銀行それぞれ積極的に、うまくいった事例があった。こうやって何か外から来る人とかでもいいし、当然地

元の人でもいいし、事業継承というのも可能性があるのかなってというのが、去年携わって感じた。

横内 今は完全移住だけでない。東京圏等で仕事がありながらも、こちらに来て、そのまま複数仕事を持っている方の方が、生活がうまくいっているような印象もある。みんながみんなどこかに勤めに行くっていう考え方だけじゃない。移住者の力も地域にとって大きくなると思う。

事務局 所 ありがとうございます。事業継承は市も課題として取り次ぎたい。

(5) 今後の予定

事務局 所 8月下旬に第1回会議の開催を予定。次回も同様に情報交換できればと思っているので、これからの移住相談に係る記録を取っておいていただくようお願いしたい。また、セミナー等でも委員の皆様の多大なご協力に感謝する。次年度も、多くの皆さんにも関わっていただき、より深いものにしていきたい。

<終了>

以上